

競技審判上の注意

- (1) 本大会は、令和3年度(公財)日本バドミントン協会競技規則及び同大会運営規程並びに同公認審判員規程に基づき実施します。
- (2) 主審は、全て大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは原則として配置しません。線審は、相互審判とします。各チームの帯同審判員から線審1名を出してください。
- (3) 各チームの指導者は3名以内・帯同審判員は3名以内とします※帯同審判員は線審となります。
- (4) チームの代表者又は指導者は、選手が会場に到着したら、入口ホールに設置してある選手受付にて、会場に到着したことをチーム単位(学年別)で報告してください。
- (5) 入場時間等は、日程表に記されています。入場した後は、原則として試合が終わるまでは会場の出入りは出来ません。必要なものは入場時に全て持ち込んでください。
- (6) 試合がコールされましたら、観客席から導線に従って直接コートへ集合してください。
- (7) コート入場後の試合前練習は、主審の指示により初戦のみ3分間行います。シングルスの場合は対戦相手と、ダブルスの場合はパートナーと行ってください。この際のシャトルは、主催者で用意いたします。
- (8) 試合が連続する場合は、原則として、試合終了後、次の試合開始までに10分は間隔をあけます。
- (9) バックバウンダリーライン後方にコーチ席2席を設けます。コーチ席に入ることができるのは、登録したコーチのみです。
- (10) 試合開始前及び終了後の選手同士の握手や試合終了後の主審との握手は禁止します。但し、相手に誠意をはらって、会釈をすることを心掛けてください。
- (11) 各試合(マッチ)のインターバルは次のとおりです。
 - ①各ゲームにおいて一方のサイドが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。選手は20秒前にはコートに入ってください。
 - ②第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。選手は20秒前にはコートに入ってください。
- (12) インターバル中のアドバイスは、コートサイドで行う(コーチ2名が同時にコートサイドまで立ち入ることを認める)こととし、主審が「20秒」とコールしたら、すみやかにコートから離れ、選手はコートに入ってください。
- (13) 試合(マッチ)中の水分補給、汗拭き、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得てください。コートサイドにはかごを用意しません。各自ラケットバックに、飲み物などを含む必要な持ち物を収容しコート脇に持ち込んでください。水分補給用の容器は、倒れても中身がこぼれないものを使用してください。氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。

(インターバル以外はクーラーバックに入れ、コーチ席に置いて下さい)
- (14) 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認めません。
- (15) シャトルは原則としてヨネックスニューオフィシャル3番を使用します。シャトルの交換については主審が決定しますので、指示に従ってください。
- (16) 試合中のけがや病気に対しては、主審が判断します。主審が必要に応じて競技役員長(レフェリ

一)を呼んだ時は、競技役員長(レフェリー)の判断に従ってください。

- (17) 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、当該選手及びコーチに限ります。試合(マッチ)中、インプレーでない時のアドバイスはコーチ席に座って行い、試合(マッチ)中はコートそばに立ってはいけません。また、コーチが他のコートに移動したいときは、必ずインプレーでないときに行ってください。
- (18) 競技フロア内での携帯電話等の使用は、一切認めません。携帯電話等は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- (19) 試合中にモバイル機器(iPad・携帯電話等)を使用したアドバイス・コーチングは禁止します。
- (20) 試合中の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、試合時必ず上着の背面中央に県名氏名を明記してください。ゼッケンの場合は縦15~20cm、横約2.5cmとし、県名及び個人名(フルネーム)を明記してください。なお、文字の大きさは大会運営規定24条を適用(高さ6cmから10cmを厳守)し、ユニフォームの広告(ロゴ)については、平成21年8月15日付の日小連文書のとおりとします。また、ゲーム開始時には上衣の裾は下衣の中に入れてください。ゲーム中に出た場合は、インターバル時に再度入れてください。
- (21) コーチの服装は公認審判員規程第3条第5項第6号を厳守し、体育館シューズで入場してください。
- (22) 学年ごとに公式練習を行います。(日程表を確認してください)
- (23) 代表者会議は行いません。競技等についての質問事項は前々日までに、大会事務局にメールで問い合わせください。選手の棄権については、各県の小学生バドミントン連盟を通して、事務局に報告ください。

石川県ジュニアバドミントン連盟 競技部 鍛冶 寛之 携帯電話 090-2835-8023 アドレス syounenkyougi@yahoo.co.jp
--

一般上の注意事項

- (1) 会場への入場時間を定めていますので、各学年の入場時間をお守りください。
- (2) 会場では、「外履き」と「内履き」の区別を徹底してください。観覧席で履き替えてください。
- (3) 会場では、競技役員(係員)の指示や施設の職員の指示に従ってください。
- (4) 団(クラブ)旗・応援旗等を掲げる場合は、指定の場所をお願いします。その際は、テープを使用しないで紐のみをお願いします。
なお、大会本部が競技・大会運営に支障があると判断した場合には、指示に従ってください。
- (5) 観客席からの大声の助言・指導及びフラッシュ・ストロボを用いての写真撮影等、競技に支障をきたす行為は禁止します。また、競技会場内の電源(コンセント)の使用は禁止します。
また、ビデオ撮影は各県の座席位置にてお願いします
- (6) 競技会場の外から持ち込んだすべてのゴミは、各自が責任を持って持ち帰ってください。

- (7) 本大会は、傷害保険に入ってますので、ケガ等があった場合は大会中に本部まで申し出てください。
- (8) 防犯上、貴重品をはじめ私物の管理は、各自で責任を持って行ってください。
- (9) 競技会場2階の観覧席から応援する場合、フロアへの落下防止のため、最前列は着席して応援してください。
- (10) 競技会場内の通路等での「素振り」「シャトル打ち」「ランニング」等アップは大変危険ですので、行わないようにしてください。

感染症対策に関する注意事項

本大会は、(公財)日本バドミントン協会が令和3年2月20日に発出した「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」(第3章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって)に基づき実施します。参加チームの代表・監督・コーチ・保護者は、ガイドライン第3章を熟読し大会に臨んでください。なお、特に注意する点は、以下の通りです。

- (1) 選手・指導者をはじめ来場する全ての者は、当日の朝、体温が37.5℃以上ある場合、体温に異常がなくても咳や喉の痛み等、体調に異変を感じたときには、参加を中止してください。
- (2) 各チームは、受付時に、別紙「大会・講習会 参加関係者 健康状態確認シート」に選手・コーチ・参加保護者等の氏名や健康状態等を記載し、本部に提出する。
体育館入場時には、検温器による体温測定も行いますのでご協力ください。
- (3) 新型コロナ感染症予防対策の観点から入場者の数の制限を行います。
各県ごとの入場者の制限を参加選手一人につき一人の保護者等の入場を可としますのでご協力をお願いいたします。
一定時刻での換気も求められておりますので、指示によりご協力をお願いいたします。
- (4) 開始式は、種目毎に行います。観客席に着席したままでの開始式とします。
- (5) 初日、試合のない5年生は公式練習のみとなりますのでご了承ください。
- (6) 閉会式は行いません。3位以上の入賞者は、競技終了後、表彰式を行いますので、指定の場所にお集まりください。
- (7) 選手は、フロアへの入退場時には、指定された通路を通り、フロア置いてあるアルコール液により、手指の消毒を行ってください。
- (8) 観戦は、各県毎に指定された観客席で行います。他の県の観客席には立ち入らないでください。
- (9) 待機時や観戦時は必ずマスク等を着用してください。
- (10) 競技会場の外から持ち込んだすべてのゴミは、各自が責任を持って持ち帰ってください。
- (11) 試合結果の掲示場所では、結果はスマホで撮影し観覧席で確認する等、密にならない対応をしてください。
- (12) コーチングは、一定の距離を保った上で行ってください。
- (13) プレーヤー又はコーチとの握手やハイタッチは行わないように注意してください。
- (14) 試合中、意識的に大声を出さないように注意してください。